

Asahi

ASAHI University News Letter

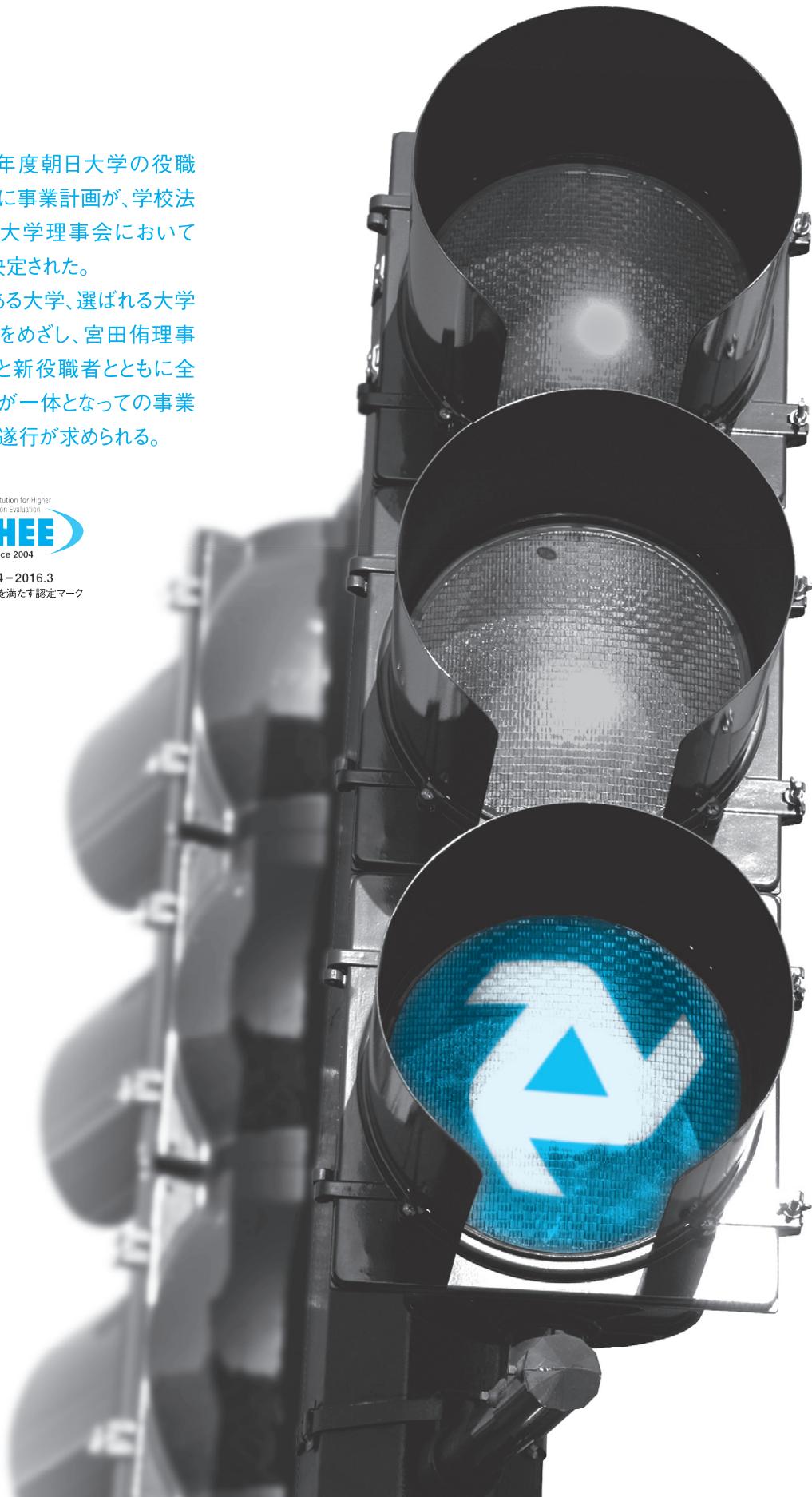
隔月1日発行
March 2011 Vol. 71

朝日大学
<http://www.asahi-u.ac.jp>
編集・発行／朝日大学 入試広報室

朝日大学は、国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人間的知性に富む人間の育成をめざします。

2011年度朝日大学の役職者並びに事業計画が、学校法人朝日大学理事会において選任・決定された。

「魅力ある大学、選ばれる大学づくり」をめざし、宮田侑理事長のもと新役職者とともに全教職員が一体となっての事業計画の遂行が求められる。



HOT TOPICS



「建学の精神」に基づき 「魅力ある大学、選ばれる大学」をめざす

2011年度事業計画が決まる

2011年度の事業計画が、本年1月の理事会で決定された。

現下の厳しい社会情勢や少子化の到来にあって、「教育」の重要性が一層増しているなか「教育の質の向上」、「教育研究環境の整備」、「地域社会への貢献」を最重要課題と捉え、事業計画・予算の基本方針として次の点を挙げている。

基本方針

- アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの明確化と積極的な情報開示をはかる
- 初年次教育、学生参加型授業をより充実し、学生の学習意欲の向上をはかる
- 本学の同窓会との連携、父母との連携強化に引き続き努める
- 本学医療機関等を中心に、地域社会への貢献に全力を擧げる
- 学生の就学環境の向上をはかる
- 諸施策の確実な実行のため、強固な財務基盤を確立する

教育の重要性

「混迷を深める今だからこそ、教育の重要性が問われている」
教職員を前に2011年度事業計画の基本方針を述べる宮田侑理事長。



また、この基本方針に基づき決定された事業計画は下記のとおりである。

- I 学生募集の強化
- II 教育の質の向上
- III 体育会の育成強化
- IV 全学をあげての就職対策
- V 組織改編等
- VI 地域社会との連携
- VII 国際交流の推進
- VIII 同窓会・教育後援会との連携強化
- IX キャンパスアメニティの向上
- X 医療を通じた社会貢献
- XI 堅実な資産運用等

附属村上記念病院新棟建設に着工

附属村上記念病院(岐阜市橋本町)で、本館西側敷地内に新棟(西館)を建設する工事が開始された。

地域社会に貢献

地下1階、地上4階建ての新棟(西館)は、新たに次の機能・設備が加わり、本年12月の完成、来年1月からの稼働を予定。また、その後行われる本館・東館のリニューアル工事は2年後の3月完成を予定している。

- 放射線治療器を設置(地下1階):最先端機器の導入。
- 総合健診センターを移設(1・2階):より快適な検診環境を提供。
- 病棟を増設(3・4階):総ベッド数を358床から400床に増床。
- 本館・東館のリニューアル:外来診療室の整備・拡充、病棟の環境整備、売店と喫茶・軽食堂の移設など。

今回の新棟建設と本館・東館のリニューアルにより、放射線治療器によるより高度な治療が可能となると共に、回復期リハビリテーション病棟や急性



附属村上記念病院の新棟完成図

期の治療を終えた方の療養を行う病棟も整備される。

新役職者決まる

今年3月の役職者の任期満了に伴い、2011年1月及び2月の理事会において新役職者等が選任(再任、任期中の役職を含む)された。

「魅力ある大学づくり、選ばれる大学づくり」をめざし、大友克之学長、森下伊三男副学長、倉知正和副学長を中心とした新執行部体制がスタートする。

学長	大友 克之
副学長	森下伊三男
副学長	倉知 正和
学生部長	山本 英弘
情報教育研究センター長	板谷 雄二
図書館長	明坂 年隆
法学部長(兼大学院法学研究科長)	杉島 正秋
副法学部長	平田 勇人
法制研究所長	糸山 錚吾
経営学部長(兼大学院経営学研究科長)	奥山 徹
経営学科長	荻久保嘉章
情報管理学科長	板谷 雄二
ビジネス企画学科長	岩崎 大介
産業情報研究所長	小畠 信史
マーケティング研究所長	鈴木 博道

各学部長・研究科長は、いずれも再任。倉知副学長が兼務していた附属病院長には吉田隆一教授(現副院長)、森下副学長が兼務していた図書館長には明坂年隆歯学部教授が選任された。任期はいずれも2011年4月1日から2013年3月31日まで。

歯学部長(兼大学院歯学研究科長)	田村 康夫
附属病院長	吉田 隆一
式守 道夫	
附属病院副病院長	山本 剛史
	藤原 周
附属病院PDI岐阜歯科診療所長	藤原 周
附属村上記念病院長	安藤 隆
	日下 義章
附属村上記念病院副病院長	加藤 周司
	加藤 隆弘
	武田 則之
口腔科学共同研究所長	柏俣 正典
教職課程センター長	小川 信幸
留学生別科長	丸山 和美

「SD研修会」開催

教育職及び事務職の管理者を対象としたSD研修会が、1月6日に開催され、赤石健司常務理事並びに大友克之学長から、2011年度事業計画の概要と本学の現状分析について詳細に解説された。

職員の資質向上が不可欠

大学(高等教育機関)では、教育研究活動をサポートする職員の資質向上が不可欠であり、教育職員のFD(ファカルティ・ディベロップメント)活動推進と共に、教育・事務職員によるSD(スタッフ・ディベロップメント)活動のさらなる活性化が求められている。

研修会出席者たちは、建学の精神に基づきより一層の大学改革の推進と組織力強化を図ることが「魅力ある大学、選ばれる大学」づくりにつながるものであるとの認識を深めた。



赤石常務理事並びに大友学長が講師を務める

SD [staff development]

職員の意識改革、能力開発の実践的手法

「FD研修会」開催

FD活動推進委員会(委員長:森下伊三男副学長)主催による「第10回FD教員研修会」が、1月13日に本学6号館大講義室で開催された。

初年次教育はいかにあるべきか

本研修会は、授業方法や指導方法等の改善を通じて、魅力ある授業を学生に提供することを目的として毎年開催しているもので、今回河合塾教育研究部の谷口哲也統括チーフを講師として招聘。「学生を変容させる初年次教育はいかにあるべきか」と題した講演が行われ、授業や診療を終えた教育職員約150名が参加した。

講演終了後には、学生を変容させる効果的な授業方法のあり方や先進的な取り組み等について活発な質疑応答が行われ、今後の授業改善に役立てたいと思う教員の真剣な姿が見られた。

朝日大学では、今回開催された教員研修会のほか、全学や各学部において授業理解度調査、相互授業参観、FDワークショップ、ランチタイムミーティングなどを実施しており、今後も「魅力ある大学、選ばれる大学」をめざし、様々なFD活動を積極的に推進していく。



「初年次教育はいかにあるべきか」を学ぶ

FD [faculty development]

教員の教育能力を高めるための実践的手法

TOPICS



「日本の伝統文化」を学ぶ

留学生別科日本語研修課程の留学生たちが、授業(日本の文化)で「生け花」、「茶道」や「折り紙」を学び、日本の伝統文化に親しんだ。

「生け花」の授業では、留学生たちが真剣な面持ちで華道を体験。穂積キャンパス内で行われた「生け花展」では作品を前にそれぞれの出来ばえを評価しあっていた。

茶筅に悪戦苦闘

「茶道」の授業では、「お盆立て」という自宅でも簡単にできるお茶の立て方を体験。留学生たちは初めて手にする茶筅(ちゃせん)の使い方に悪戦苦闘していた。

また、「折り紙」の授業では、折り紙の歴史や千羽鶴の意味を学び、色とりどりの色紙で楽しそうに鶴や兜などの作品を作り上げていった。



真剣な面持ちで華道や茶道を体験

メンタルヘルス講演会開催

学生部が主催する「メンタルヘルス講演会」が本学穂積キャンパス5号館講義室で開催された。

メンタルヘルスを学ぶ

講演会では、本学健康管理センターのカウンセラーである宮地幸雄臨床心理士を講師に迎え「大学生のメンタルヘルス-多様化する学生・大学全入時代を迎えて-」をテーマに教職員約50名が熱心に学んだ。

宮地講師は、学生相談の場において「我々は学生の話を聴いているつもりになっているが、早合点したりして実際には聴けていないかもしれない」と語り、心理学の概念や傾聴の方法について詳細に解説された。また、講演会後には、講師を囲んだ情報交換会が開かれ、学生サポートにかかる意見交換が積極的に行われた。



「大学生のメンタルヘルス」について学ぶ

就職活動本格スタート

大学生の就職環境がますます厳しさを増すなか、法学部・経営学部3年生の就職活動がいよいよ本格的に始まった。

本学では、就職支援の一環として就職活動がスタートした3年生を対象に、大垣フォーラムホテル(大垣市)において「面接合宿トレーニング(1泊2日)」を1月8・9日に実施した。

ビデオで面接の様子を確認

合宿では、今回地元企業の人事担当者を講師に招き、「自己分析・PR、志望動機の作成」から「模擬面接」まで、実践的で幅広い指導が2日間にわたり行われた。参加した学生たちは、就職戦線を目前に控え真剣な面持ちで講師のアドバイスに耳を傾け、それぞれが手応えを感じている様子であった。

積極的に自己アピール

また、2月23日には岐阜都ホテル(岐阜市)において「朝日大学2011就職セミナー」が開催された。



このセミナーは、本学学生の採用実績が豊富な東海地区を中心とした企業を招いて行う本学独自の就職説明会で、毎年学生たちが自分を積極的に企業へ売り込む場となっている。参加企業は70社を超え、約250名のリクルート姿の本学学生が企業ブースに足を運び、採用担当者と対面した。

セミナー終了後企業担当者からは、参加学生の意欲・熱意の高さに評価が集まり、入学時から取り組んできた就職活動に対する備えの成果が大いに感じられた「就職セミナー」となった。

英語でプレゼンテーション

「国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍的人間的知性に富む人間の育成」を建学の精神に掲げる朝日大学では、実践的な英語教育が展開されている。



法学部の英語I(西善也准教授)では、英語によるプレゼンテーションが行われ、実社会への旅立ちを見据えた授業を積極的に行ってている。

共同作業がチームワークを生む

学生たちが、発表テーマについてグループごとに協力し調査・検討を経て発表原稿を作成、推敲を重ねた英訳でプレゼンテーションを行うもので、発表当日は、判定(ジャッジ)役の先輩学生や教員による厳正な審査や活発な意見交換が行われた。

プレゼンテーションを終えた学生たちは、互いに結束力の強さと英語力の大切さを確認しあっていた。

歯科医師への道がスタート

2011年度歯学部AO入試・推薦入試合格者を対象とした「入学前セミナー」が、本学穂積キャンパス及び大垣フォーラムホテルにおいて1泊2日の日程(2010年12月25・26日)で開催され、今春の入学を待ちにした入学予定者が参加した。

このセミナーは、本学歯学部の教育内容を事前に説明のうえ、入学時までの有意義な時間の過ごし方等をアドバイスすることを目的として毎年開催されているものである。

歯科医師という夢

セミナーでは、田村康夫歯学部長から「入学までの貴重な時間を将来の歯科医師という夢に向けた歩みの期間とてもらいたい」との挨拶がなされ、その後、磯崎篤則教務委員長、永原國央学生生活委員長から、「教育方針、歯学教育の現状」や「歯科医師をめざす学生像」などの説明がなされると共に、入学までの学習についてのアドバイスが行われた。

また、グループディスカッション、チューターらとの座談会や懇親ボーリング



活発なグループディスカッションが展開

大会では、参加者と本学教職員との交流もはかられ、セミナー参加の入学予定者たちは、朝日大学でスタートを切る学生生活に夢と希望をふくらませていた。

入院患者へひざ掛けを贈る

附属村上記念病院では、毎年寒さを迎える時期に入院患者へ、ひざ掛けを贈っている。

この行事は、毎年行っている催事で、森プリント(株)社長(本社:岐阜県羽島郡笠松町)の森典義氏や地元織維会社の協力を得て寄付を受けたひざ掛けとプリザーブドフラワーを入院患者ひとり一人へ贈った。

心のこもった贈り物

本院非常勤講師でいちだクリニック院長(岐阜市清本町)の市田正成氏、安藤隆病院長らがサンタクロース姿に扮して病室を訪問。「元気になつてください、お大事に」と患者さんひとり一人に声をかけてひざ掛けを渡すと、患者たちは「心のこもったぬくもりをありがとう」と笑顔をほころばせていた。



入院患者へひざ掛けを贈る

「症例報告会」開催

本学穂積キャンパス6号館大講義室において、歯学部5年生による「臨床実習生症例報告会」が開催された。

学びの成果を発表

この報告会は、昨年5月に「登院式」を終えた5年生が一年間にわたり



附属病院の各診療科で学んだ臨床実習の学習成果を発表する場として昨年度から開催されている。グループごとに行われた報告会では、学生たちが教員たちを前に一年間の臨床実習の成果をパワーポイントを駆使し堂々と発表していた。

いよいよ今春から最終学年へと進級し、歯科医師国家試験に挑む学生たちの成長が楽しみである。

SCRP日本代表選抜大会

「第16回 Student Clinician Research Program (SCRP)」日本代表選抜大会が、日本歯科医師会館(東京都)で開催され、本学から、歯学部5年生の水野裕文さんが出場した。

研究成果を英語で発表

日本歯科医師会が主催(後援:デンソープライス社)するSCRPには、今回全国から歯学部学生22名が出場、本学歯学部の水野さんは卵白タン



質疑応答を行う水野裕文さん

パク質のアビジンが選択的に口腔内グラム陽性細菌に結合することを見出し、「酵素標識した卵白アビジンをプローブとした歯垢染色液の開発研究」を英語で発表した。

発表を終えた水野さんは、「論理的思考の大切さ、プレゼンテーション・質問内容を、英語で理解して即座に答えることの難しさを学び、貴重な体験ができた。指導して下さった先生方に感謝したい」と語った。

成人式で歯科検診

瑞穂市総合センターで1月9日に行われた成人式では「記念歯科検診」が実施され、本学歯学部社会口腔保健学分野の歯科医師や歯科衛生士らが、新成人の歯科検診を行うと共に歯の健康管理についてアドバイスを行った。

地域社会の健康を守る

この歯科検診は1989年からスタートし、現在では瑞穂市成人式の恒例行事として定着している。振り袖やスーツ姿の新成人たちは、虫歯の有無を診てもらったり、ブラッシング指導などを受けていた。歯科検診を行っている磯崎篤則教授は、「瑞穂市民の歯の健康に対する意識は非常に高いものがある。これからも検診を通じて地域社会の健康を守っていきたい」と語った。

EVENT



歯の大切さを学ぶ

瑞穂市立牛牧小学校の児童が穂積キャンパスを訪れ、歯の大切さについて学習した。

歯学部の臨床実習室に入室した児童たちは、これまでに見たことのない実習機器に驚き室内をキヨロキヨロ見回したり、機材に触れたりしていた。

虫歯予防について学ぶ

講師を務めた本学歯学部の磯崎篤則教授（社会口腔保健学分野）が、クイズ形式でディスプレイモニターに虫歯のメカニズムやブラッシングの画面を映し出すと、小学生たちは虫歯の原因はなにか？どのように歯磨きをしたら虫歯にならないのかなど興味津々に説明を受けていた。

本学では、予防医学・歯学に関する啓発活動を展開すると共に、附属病院、附属村上記念病院、PDI岐阜歯科診療所を通じ地域社会の健康を守る役割を果たしている。



小学生が歯の大切さを学ぶ

岐阜県トラック協会との共同研究

「地域物流の市場を探る」をテーマとする本学産業情報研究所（所長：荻久保嘉章教授）主催の研究会が、穂積キャンパス6号館講義室で開催された。

産業情報研究所では、2008年度から2年間にわたり（社）岐阜県トラック協会との共同研究を実施。今回の研究会では、本共同研究のプロジェクトリーダーである忍田和良客員教授が、初年度の成果である「地域物流市場の高度化策に関する調査・研究（荷主編）」の概要について報告した。

報告では、荷主が物流業者に期待する『物流費用対策』について、「納品サービスの向上」への期待が大きいこと、さらに、社会的課題として「物流効率化と排ガス削減の両立化」を必須としており、企業連携等による省エネ物流対策の必要性がある等の調査・研究結果が示された。また、同協会の業務部長である臼井靖彦氏による「トラック業界の現況と動向」についての発表もなされ、より議論が深まった。

産業情報研究所では、今後もより一層、地域産業界との連携を深めていくこととなる。



忍田和良客員教授が研究成果を報告

がん治療の最前線

JR岐阜駅前の「じゅうろくプラザ」で、附属村上記念病院主催の市民公開講座が、岐阜県医師会や岐阜市医師会などの後援により開催された。

同講座は「がん治療の最前線」をメインテーマに、江原英俊教授（泌尿器科）と久米真准教授（外科）がそれぞれ座長となり、5つのテーマについて講演が行われた。

各講師からは、胃や大腸、そして前立腺や肝臓・胆嚢・脾臓におけるがんの原因や、生活習慣との関わりなどについて治療と予防の側面から受講者にも分かりやすく解説がなされた。



受講者は生活習慣の改善を改めて認識した

「がん治療の現状」、「大腸がんの治療」	講師（外科）	中嶋 早苗
「胃がんの治療」	准教授（外科）	川部 篤
「前立腺がんの治療」	教授（泌尿器科）	江原 英俊
「肝胆膵のがんの治療」	教授（外科）	江川 裕人

健康への関心の高さ

今回の公開講座への関心は非常に高く、開催2週間前には申込受付を締め切ったほどで、当日会場は550名を越える受講者で満席。「がん」にならないために生活習慣を見直そうと、真剣なまなざしでメモをとる姿、質疑応答が数多く寄せられるなど大変意義深い公開講座となった。

附属村上記念病院は、今後も公開講座の充実をはかり積極的な情報発信に努めると共に、地域社会の皆様方の健康を守り、かつ、信頼される医療機関としての役割を担って行く方針である。

「マーケティング」指導で高大連携

岐阜県内の商業高校教諭が「マーケティング」の指導内容と指導方法について研究を行っている「マーケティング専門委員会（委員長：大垣商業高等学校 成田正明校長）」において、本学マーケティング研究所の中畑千弘所員（経営学部教授）が「アイデア発想のための消費者アプローチ」をテーマに教育研修会の講師を務めた。

この研修会は、新学習指導要領での「マーケティング分野の各科目の指導」にいかす実践事例を検証し、より実践的・体験的な授業展開例を研究する目的で実施された。

ワークショップで実践

研修会では、企業等で活用されている様々なアイデア創造の方法について事例解説が行われた後、「言語の因数分解（語句連想法）」、「吹き出し付きお絵かき」などの手法について、ワークショップを通じてアイデア創出法を実践した。参加教諭らは、地域と連携した商品開発の企画・開発を実践的な授業に活かすための新しいヒントを熱心にメモしていた。

同研究所では、今後も各高校が実践する「地域活性化につながる商品開発」へのサポートを通じて、高大連携をはかっていくこととしている。

体育会トップアスリートたちが受賞 「岐阜県スポーツ功績賞」

本学体育会強化種目に所属する選手たちが、このたび輝かしい競技成績により、「岐阜県スポーツ功績賞(旧県民栄誉賞)」並びに「岐阜県教育長表彰」をそれぞれ受賞した。

2012年「ぎふ清流国体」に向け、選手たちの今後の一層の活躍が期待される。



「岐阜県スポーツ功績賞」を受賞

「岐阜県スポーツ功績賞(旧県民栄誉賞)」

スポーツの分野で国内、世界トップレベルの活躍をした個人や団体に贈られる賞

■団体

フェンシング部(女子)、自転車競技部(岐阜選抜)

■個人

フェンシング部

福田美香子(ビジネス企画3年:秋田)

ボウリングチーム

安里秀策(ビジネス企画1年:沖縄)

「岐阜県教育長表彰」

文化・スポーツの全国大会で上位入賞を果たした個人や団体に贈られる賞

■団体

フェンシング部(男子・女子)、ホッケー部、自転車競技部

■個人

フェンシング部

伊藤真実(法3年:宮城)

陸上(競歩)

棄原一菜(ビジネス企画4年:岐阜)

自転車競技部

武田直也(ビジネス企画4年:新潟)・尾形鉄馬(同3年:宮城)

明珍裕子(同3年:鹿児島)・松本諒太(同1年:三重)・鈴木遊(同1年:鳥取)

剣道 朝日大学鍊成会

本学体育会剣道部の主催による「第9回剣道鍊成会」が、安八町総合体育館で2月20日に開催され県内外強豪校の高校剣士たちが集った。

2003年から始められた同鍊成会は、高校剣道の競技力向上と本学体育会剣道部の活動を県内外にPRすることを目的として毎年開催されており、当日は約300名の高校剣士(県内12校、県外12校)らが参加。全国トップクラス大阪清風高校剣道部の元監督中寛和氏による指導の下「基本鍊成、試合鍊成、稽古会」に真剣に取り組んでいた。



全国から強豪剣士が集った

「心技体」を磨く

会場となった体育館には強豪剣士の交える剣音が鋭く響き、全国選抜大会を間近に控えた剣士たちにとって「鍊成会」は、技術・競技力向上のための充実した一日となった。



SPORTS

フェンシング 全日本選手権で大活躍

「全日本フェンシング選手権」が本年の国体開催地である山口県岩国市で開催され、本学体育会フェンシング部と同部OBたちが大活躍をみせた。

同大会は国内最高峰の大会で、部員たちは社会人を相手に果敢に挑み、みごと女子サークル個人で伊藤真実選手(法3年:宮城)が準優勝、女子エペ個人で福田美香子選手(ビジネス企画3年:秋田)が3位、女子サークル団体でも堂々の3位入賞を果たした。また、同部OBの中山セイラさん(2005年度卒業 大垣共立銀行勤務)が女子サークル個人で初優勝を、伊藤祐樹さん(2007年度卒業 大垣信用金庫勤務)が男子エペ個人で初優勝を、青柳裕子さんと廣瀬恵理加さん(共に2008年度卒業 大阪信用金庫勤務)が女子サークル団体で優勝を収めるなど、朝日大学体育会フェンシング部が大活躍をみせた大会となった。



「全日本選手権女子サークル団体」で3位入賞を果たす

ジュニアオリンピックで連覇!!

駒沢オリンピック公園体育館(東京都)では「JOCジュニアオリンピックカップ・フェンシング大会」が開催され、田村紀佳選手(ビジネス企画1年:群馬)が20歳以下の日本一を決める大会で女子サークル個人においてみごと優勝の栄冠に輝き、同種目「連覇」の偉業を達成した。

ロンドンオリンピックをめざし、若きフェンサーたちの活躍が期待される。

「2011アジア選手権」 安里(ボウリング)、明珍(自転車) が日本代表に

本学体育会から、栄誉ある「2011アジア選手権」の日本代表に2名の選手が選出された。

ボウリングチームから、本年度「NHK杯争奪全日本選抜ボウリング選手権大会」と「ゆめ半島千葉国体:男子団体」で優勝を果たした安里秀策選手(ビジネス企画1年:沖縄)が、また、自転車競技部から、「全日本大学対抗選手権自転車競技大会:女子ロードレース」で優勝(2009年度)・準優勝(2010年度)を収めた明珍裕子選手(ビジネス企画3年:鹿児島)がそれぞれ日本代表に選ばれた。

両選手のアジアを舞台にした国際大会での活躍が期待される。

NEWS



経営学部情報管理学科の名称変更予定のお知らせ

本学経営学部情報管理学科では、時代の変化に対応するため、2012年4月から「経営学部経営情報学科」に学科名称を変更することで、本年6月を目指して文部科学大臣への届出手続きを進めることとしました。

本件に関する問い合わせは、郵便番号、住所、氏名、電話番号、所属学科を明記の上、FAXまたはE-mailにてご連絡ください。

[連絡先] 朝日大学学事部学事課

TEL:058-329-1077 FAX:058-329-1253 E-mail:gakuji2@alice.asahi-u.ac.jp

創立40周年記念植樹

1月19日で創立40周年を迎えたことを記念して、穂積キャンパス内の野球場西側にて「記念植樹」が小雪が舞うなか行われた。

森下伊三男副学長の挨拶の後、出席した教職員の手により本学が一層たくましく発展・成長することを祈り、記念樹の「モッコク」が植樹された。



本学のさらなる発展・成長を願い、記念植樹を行った



大学生に熱く語りかける山田昭男氏

経営学部開設25周年記念講演

1985年に開設された経営学部が25周年(経営学会設立20周年)を迎えるこれを記念した講演会が穂積キャンパス6号館大講義室で開催され、教職員や学生ら約500名が出席した。

常に考え自主性を育てる

型破りな経営手法で各種メディアからの取材が殺到、海外や全国各地を飛び回る未来工業(株)の創業者で取締役相談役の山田昭男氏を講師に迎え、「これから社会にでる君たち-常に考える-」をテーマに行われた講演では、同社の経営哲学である-社員の「やる気」を育てること-が語られた。

山田氏は、社員が常にプラス思考で考え方事に取り組むことで自主性が育まれ、それが会社(企業)の発展や社員のさらなるモチベーションアップへとつながり好循環が生まれていることを解説。実社会へと旅立つためには、常にプラス思考で考え方自主性を持って物事に取り組む姿勢が大切であると熱く大学生に語りかけた。

未来工業株式会社

屋内スイッチボックスの国内シェア80パーセントを誇る超優良企業
売上高／207億円(2010年3月) 従業員／775名
本社／岐阜県安八郡輪之内町

「2011年度学年暦」決まる 入学式を4月2日に挙行

法学部・経営学部 (注)日程等変更となる場合があります。歯学部 (6学年:3月30日に新年度開始) (注)日程等変更となる場合があります。

前学期の日程	行 事 等	前学期の日程	行 事 等		
			1学年	2・3・4学年	5学年
3月30日～4月1日	ガイダンス期間 (定期健康診断を含む。)	3月30日			ガイダンス、定期健康診断
4月2日	入学式(春季)	3月31日		ガイダンス、定期健康診断	
4月3日	新入生学外研修	4月1日	定期健康診断		
4月4日	前学期授業開始	4月2日	入学式、学生部オリエンテーション		
4月11日～13日	履修届・個別授業時間割表提出期間	4月4日	ガイダンス・アチーブメントテスト	前学期授業開始	前学期授業開始
5月7日～11日	履修登録修正期間	4月5日	前学期授業開始		
7月23日	前学期授業終了	4月7・8日	新入生学外研修		
7月25日～8月1日	前学期定期試験期間	5月7日			登院式
8月2日～9月20日	夏季休業期間	7月16日	前学期授業終了	前学期授業終了	
8月2日～12日	集中講義期間	7月19日	前学期定期試験開始	前学期定期試験開始	
8月16日～19日	集中講義期間	7月30日	前学期定期試験終了	前学期定期試験開始	前学期授業終了
8月22日	前学期授業科目の合否結果発表日、 前学期追・再試験手続日	8月1日	夏季休業開始	夏季休業開始	夏季休業開始
8月29日～9月3日	前学期追・再試験期間	8月27日	夏季休業終了	夏季休業終了	
9月17日	学位記授与式(春季)	8月29日	前学期追・再試験開始	前学期追・再試験開始	
9月20日	入学式(秋季)	8月31日			夏季休業終了
9月22日	後学期授業開始	9月1日			後学期授業開始
9月22日～27日	前学期成績通知表配付期間	9月3日	前学期追・再試験終了	前学期追・再試験終了	
		9月5日	後学期授業開始	後学期授業開始	

法学部・経営学部では、授業日数の確保という観点から、2011年度は特定の祝祭日等(9月23日-秋分の日、11月23日-勤労感謝の日、1月19日-創立記念日)に授業を実施することとし、該当する祝祭日の振替休日として特定日(9月21日、10月21日、1月10日)を休日(授業を行わない)とします。

なお、このことにより休日の日数が減ることはあります。

歯学部での祝祭日等の対応については、従前(カレンダーどおり)のとおり取り扱うこととします。